

【資料 3】

「前田昭博」氏の重要無形文化財保持者認定について

平成25年9月26日、前田氏は「白磁」の分野で、県内で初めてとなる重要無形文化財保持者（いわゆる「人間国宝」）に認定された。その作風は、伝統的な技法を踏まえつつ豊かな芸術性を備え、かつ現代感覚にあふれている。日本伝統工芸展等で受賞を重ね、さらに紫綬褒章を受けるなど高い評価を得ており、後進の指導・育成にも尽力している。

- 1 氏 名 : 前田昭博（鳥取市河原町在住 59歳 工房「やなせ窯」）
- 2 認定分野：重要無形文化財「白磁」保持者
- 3 略歴など：別紙（1）のとおり
- 4 その他 鳥取県内に在住されている方については、国の重要無形文化財の保持者（人間国宝）は、初めての認定となる。



（9月27日に東京で開催された認定式の模様）

（別紙１）前田 昭博（まえた あきひろ）氏の「人間国宝」認定について

※「人間国宝」とは、国の重要無形文化財の保持者として認定を受けた方に対する通称です。

１． 認定の内容

国の重要無形文化財（工芸美術の部）の「白磁」の保持者として、現保持者の井上萬二（いのうえばんじ）氏に加えて「追加認定」された。

白磁の技法を高度に正しく体得しており、かつ、これに精通していることと、伝統的な技法を踏まえつつ豊かな芸術性を備え、かつ現代感覚にあふれる作風が高く評価されていること、後進の指導・育成に努めていることなどが評価された。

２． 前田氏の略歴

昭和 29 年（1954）	鳥取市河原町 生
昭和 52 年（1977）	大阪芸術大学工芸科陶芸専攻卒業
平成 3 年（1991）	第 11 回日本陶芸展「毎日新聞社賞」受賞
平成 9 年（1996）	第 10 回MOA岡田茂吉賞工芸部門優秀賞
平成 11 年（1999）	「日本の工芸（今）100 選」展招待出品 鳥取市文化賞受賞
平成 12 年（2000）	第 47 回日本伝統工芸展「朝日新聞社賞」受賞
平成 15 年（2003）	20 回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形」展大賞受賞 第 2 回京畿道世界陶磁ビエンナーレ銅賞受賞 第 50 回日本伝統工芸展「第 50 回展記念賞」受賞
平成 16 年（2004）	日本陶磁協会賞受賞
平成 17 年（2005）	第 60 回新匠工芸展「60 回記念大賞」受賞
平成 19 年（2007）	紫綬褒章授章
平成 22 年（2010）	鳥取県文化功労賞受賞
平成 24 年（2012）	鳥取県指定無形文化財（陶芸）認定 第 22 回ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレ招待出品